



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年11月9日

上場会社名 株式会社京都ホテル 上場取引所 東  
コード番号 9723 URL <https://www.kyotohotel.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福永 法弘  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 井手 章 (TEL) 075(211)5111  
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	4,234	41.3	351	—	280	—	271	—
2023年3月期第2四半期	2,996	91.6	△428	—	△291	—	△298	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	20.86	—
2023年3月期第2四半期	△24.77	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	15,808	1,326	8.4
2023年3月期	16,078	1,094	6.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 1,326百万円 2023年3月期 1,094百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,600	17.0	270	—	120	51.9	100	61.3	8.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	12,065,400株	2023年3月期	12,065,400株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	242株	2023年3月期	242株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	12,065,158株	2023年3月期2Q	12,065,176株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

種類株式の配当の状況

配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	40,000.00	40,000.00
2024年3月期	—	0.00			
2024年3月期(予想)			—	40,000.00	40,000.00

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 重要事象等の解消について .....	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の分類の引き下げに伴うサービス分野のリバウンド需要や、個人消費の増加などにより、景気は回復傾向にあります。しかしながらウクライナ情勢の長期化によるエネルギー・原材料価格高騰や供給面での制約の影響により、先行きは不透明な状況が続いております。

京都のホテル業界におきましても、水際対策の緩和などによる訪日外国人観光客の増加や、飲食を伴う宴会の利用が増えつつあり、緩やかな回復傾向にあります。

当社では引き続きお客様の安心安全を第一に考え、宿泊・宴会・レストランなど各ご利用に合わせた感染予防ガイドラインに沿って運営を行うとともに、ホテル従業員及び関連スタッフに対して感染予防対策を徹底し、お客様に安心してホテルをご利用いただける環境づくりに努めてまいりました。

営業面におきましては、全国旅行支援や訪日外国人観光客の増加などの後押しを受け、宿泊・レストランを中心に売上を拡大させました。宴会部門においても、飲食を伴う宴会の利用が徐々に増えてまいりました。一方で、本年は創業135周年にあたり、様々な企画やイベントを実施しております。加えて、エネルギー・原材料価格高騰に対応すべく販売価格見直しを行うなど、売上・利益の最大化に努めてまいりました。

また、今後の需要回復を見据えて国内外へのセールス活動を再開したほか、人員不足が深刻化する中、部署の垣根を越えた社内ヘルプ体制を強化するとともに、業務の効率化・省力化を図る取り組みにも注力いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高4,234百万円(前年同期比1,237百万円増)、営業利益351百万円(前年同期は営業損失428百万円)、経常利益280百万円(前年同期は経常損失291百万円)、四半期純利益271百万円(前年同期は四半期純損失298百万円)となりました。

ホテルの部門別営業概況は次のとおりです。

## (宿泊部門)

ホテルオークラ京都では、全国旅行支援や訪日外国人観光客の急激な増加等により、売上は堅調に推移しております。特に海外からの団体客が大幅に増加しております。

からすま京都ホテルでも、外国人団体客の増加や室料単価の見直しなどにより、好調に推移しております。

この結果、宿泊部門の売上高は1,726百万円(前年同期比700百万円増)となりました。

## (宴会部門)

ホテルオークラ京都では、コロナ禍前と比較して1件当たりの人数は減っているものの、周年祝賀会、叙勲祝賀会や大型展示会などの受注件数の増加や、夏場に開催した当社主催のイベントが好調に推移いたしました。

からすま京都ホテルでも、引き続き企業による会食を伴う宴会の開催が増加しており、売上は堅調に推移しております。

この結果、宴会部門の売上高は1,187百万円(前年同期比369百万円増)となりました。

## (レストラン部門)

ホテルオークラ京都では、一部で営業制限を継続しているものの、増加している宿泊客のご利用や、価格改定などにより、堅調に売上を伸ばしております。中でも「鉄板焼ときわ」「京料理入舟」「トップラウンジオリゾンテ」が好調で、売上高は前年同時期を大きく上回っております。

からすま京都ホテルでも、引き続き中国料理レストランのランチ営業が好調に推移し、売上が増加するなど、堅調に回復しております。

この結果、レストラン部門の売上高は1,059百万円(前年同期比148百万円増)となりました。

## (その他部門)

テナント部門やホテルオークラ京都のフィットネスクラブなどの売上については、引き続き堅調に推移しております。

この結果、その他部門の売上高は261百万円(前年同期比19百万円増)となりました。

部門別の売上高及び構成比等は、以下のとおりです。

区分	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)		対前年同四半期 増減率(%)
	金額(千円)	構成比(%)	
宿泊部門	1,726,049	40.8	+68.2
宴会部門	1,187,228	28.0	+45.3
レストラン部門	1,059,997	25.0	+16.2
その他部門	261,508	6.2	+8.1
合計	4,234,784	100.0	+41.3

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 財政状態の分析

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ270百万円減少し、15,808百万円となりました。

負債は、前事業年度末に比べ501百万円減少し、14,482百万円となりました。

純資産は、前事業年度末に比べ231百万円増加し、1,326百万円となり、自己資本比率は8.4%となりました。

なお、当社は一定の業績回復を見込んでおり、当事業年度におきましては、必要不可欠なメンテナンス工事を含む設備投資を計画的に検討、実施することといたしました。また、金融機関との良好な関係のもと、資金確保を確実に実行いたします。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ168百万円増加し、当第2四半期会計期間末は2,474百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は616百万円(前年同期は183百万円の獲得)となりました。これは主に税引前四半期純利益277百万円や減価償却費354百万円などがあったことによるものです。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は87百万円(前年同期は47百万円の使用)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出87百万円などがあったことによるものです。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は360百万円(前年同期は400百万円の使用)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出224百万円などがあったことによるものです。

## (3) 重要事象等の解消について

当社は、前事業年度において2019年3月期以来の当期純利益62百万円を計上し、4期ぶりの黒字決算となり、営業活動によるキャッシュ・フローも885百万円の獲得となりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症等の影響により、前事業年度を含む直近3期は営業損失を計上する結果となったため、第1四半期会計期間末においては、引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在していると認識しておりました。

当第2四半期累計期間においては、営業利益351百万円、四半期純利益271百万円を計上するとともに、営業活動によるキャッシュ・フローも616百万円の獲得となりました。加えて、前事業年度の有価証券報告書の「事業等のリスク」に記載した最重要課題への対応を着実に実行していること、また、短期借入金1,000百万円を長期借入金(2025年3月末の一括返済)に変更して借換える目途がたったこと(2023年10月に借換え実行)により、当面の資金繰りに懸念はなくなったものと判断しております。

したがって、当第2四半期会計期間末において、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は解消したものと判断しました。

## (4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期業績予想につきましては、2023年5月10日に公表いたしました予想値をほぼ達成可能とみていることから修正は行っておりません。今後の経済状況や旅行者等の動向情報を収集した上で、通期の業績見通しが明らかになった時点において、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,305,746	2,474,431
売掛金	554,461	406,424
原材料及び貯蔵品	62,517	62,752
前払費用	44,165	54,037
その他	43,626	25,409
貸倒引当金	△378	△99
流動資産合計	3,010,140	3,022,955
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	7,711,471	7,441,058
構築物(純額)	15,443	14,754
機械装置及び運搬具(純額)	105,199	97,228
器具及び備品(純額)	190,074	175,936
土地	4,890,314	4,890,314
リース資産(純額)	27,199	30,670
有形固定資産合計	12,939,702	12,649,962
無形固定資産		
ソフトウェア	10,206	8,192
リース資産	7,986	7,271
電話加入権	4,284	4,197
商標権	54	29
無形固定資産合計	22,531	19,689
投資その他の資産		
投資有価証券	10,300	10,300
長期前払費用	8,746	8,696
前払年金費用	20,544	30,261
差入保証金	52,037	52,064
その他	14,630	14,630
投資その他の資産合計	106,258	115,951
固定資産合計	13,068,492	12,785,604
資産合計	16,078,632	15,808,560

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	128,739	105,933
短期借入金	1,000,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	448,000	448,000
リース債務	64,129	44,836
未払金	784,023	506,160
未払費用	78,242	80,497
未払法人税等	3,650	2,495
前受金	76,221	109,363
預り金	57,117	42,628
前受収益	43,782	75,984
賞与引当金	55,920	72,570
その他	27,660	34,534
流動負債合計	2,767,486	2,523,003
固定負債		
社債	2,000,000	2,000,000
長期借入金	9,616,000	9,392,000
リース債務	24,686	23,497
長期末払金	46,988	14,400
長期預り保証金	521,928	519,084
繰延税金負債	7,088	10,440
固定負債合計	12,216,691	11,959,422
負債合計	14,984,177	14,482,425
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金		
資本準備金	25,000	25,000
その他資本剰余金	1,559,414	929,635
資本剰余金合計	1,584,414	954,635
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△589,778	271,679
利益剰余金合計	△589,778	271,679
自己株式	△180	△180
株主資本合計	1,094,455	1,326,134
純資産合計	1,094,455	1,326,134
負債純資産合計	16,078,632	15,808,560

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	2,996,860	4,234,784
売上原価	545,352	663,041
売上総利益	2,451,507	3,571,743
販売費及び一般管理費	2,880,207	3,220,402
営業利益又は営業損失(△)	△428,700	351,340
営業外収益		
補助金収入	211,711	-
利子補給金	5,041	5,013
受取手数料	1,430	1,655
基地局設置手数料	1,626	1,699
受取保険金	565	3,838
その他	3,479	2,948
営業外収益合計	223,853	15,154
営業外費用		
支払利息	79,970	80,779
支払手数料	4,830	4,812
その他	1,375	403
営業外費用合計	86,176	85,995
経常利益又は経常損失(△)	△291,023	280,500
特別損失		
固定資産除却損	1,925	2,972
特別損失合計	1,925	2,972
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△292,949	277,527
法人税、住民税及び事業税	2,495	2,495
法人税等調整額	3,384	3,352
法人税等合計	5,880	5,847
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△298,829	271,679



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△292,949	277,527
減価償却費	388,384	354,120
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	55	△279
賞与引当金の増減額 (△は減少)	26,280	16,650
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△9,809	△9,716
受取利息及び受取配当金	△5	△5
支払利息	79,970	80,779
固定資産除却損	1,925	2,972
補助金収入	△211,711	-
利子補給金	△5,041	△5,013
売上債権の増減額 (△は増加)	△32,622	148,037
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△6,499	△234
仕入債務の増減額 (△は減少)	14,851	△22,806
未払金の増減額 (△は減少)	12,565	△83,561
その他	111,546	△64,150
小計	76,939	694,319
利息及び配当金の受取額	5	5
利息の支払額	△80,009	△78,386
補助金の受取額	186,634	-
利子補給金の受取額	5,041	4,191
法人税等の支払額	△5,093	△3,650
営業活動によるキャッシュ・フロー	183,518	616,479
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△41,909	△87,660
無形固定資産の取得による支出	△5,205	-
その他	-	△27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47,114	△87,687
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△224,000	△224,000
リース債務の返済による支出	△58,213	△37,033
割賦債務の返済による支出	△97,427	△58,755
自己株式の取得による支出	△27	-
配当金の支払額	△20,422	△40,318
財務活動によるキャッシュ・フロー	△400,090	△360,107
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△263,687	168,684
現金及び現金同等物の期首残高	2,226,599	2,305,746
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,962,911	2,474,431

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。